



マスコットキャラクター
EMMA(エマ)ちゃん

2020年12月期 期末 決算説明資料



株式会社 EMシステムズ

EM SYSTEMS CO ., LTD.

(東証一部:4820)

I. 『市場環境と当社の取り組み』

- i. 市場環境
- ii. 当社の取り組み

II. 『2020年12月期 決算概況』

- i. 決算ハイライト
- ii. 連結業績推移／会計年度別
- iii. 貸借対照表サマリー
- iv. セグメント別 売上高／営業利益
- v. セグメント別 売上高内訳
- vi. 調剤システム事業（四半期別/移動年次総計）
- vii. 医科システム事業（四半期別/移動年次総計）
- viii. 介護システム事業（四半期別/移動年次総計）
- ix. 今後の見通し（連結業績）
- x. 当社シェアならびにお客様数
- xi. 株主還元

添付資料 共通情報システム基盤

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

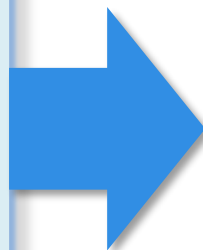
医療（クリニック・薬局）、介護/福祉業界をシステムを通じてサポートしていく当社としましては、お客様と従業員の健康と安全、そして業務面への影響を最小限に止め、安定したシステム供給とサービスを継続してご提供するため、下記の取り組みをEMシステムズグループ全体で実施しております。

- 勤務環境について
時差出勤、在宅勤務、Web会議、モバイルワークの活用、三密を避けたオフィス環境の構築
飛沫防止スタンドの各座席への設置、マスク着用、消毒等の徹底
契約書面等の電子化の推進等出社せずとも業務ができる働き方改革の実施
- 営業活動について
Webや電話を活用した営業活動

医科市場



- 「ポストコロナ」体制への対応
(オンライン診療の促進、予約診療、
キャッシュレス化など)
- 学会、民間企業による展示会の
ハイブリッド化、オンライン化
- 医療機関の電子カルテ標準化
(政府として情報連携を目指す)
- マイナンバーカードの保険証としての活用
医療機関での情報閲覧環境構築
電子処方箋化
(保険情報の個人単位化、患者利便性向上)



取り組み

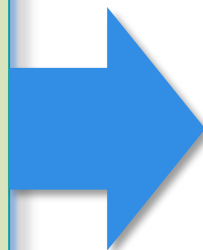


- システムのクラウド化、子会社チョキによる
キャッシュレスサービスの提供
- オンラインデモンストレーション、Web
面談ツールの活用、非対面営業
- 政府が進める電子カルテ標準化実証事
業への参画
- オンライン資格確認システム提供
(補助金制度対応)

調剤市場



- 「ポストコロナ」体制への対応
(薬局内業務の効率化、オンライン服薬指導の促進、薬剤の配達、等)
- 組織再編成、M&A
ドラッグストア業界の好調
- 展示会のハイブリッド化、オンライン化
- マイナンバーカードの保険証としての活用
医療機関での情報閲覧環境構築
電子処方箋化
(保険情報の個人単位化、患者利便性向上)



取り組み

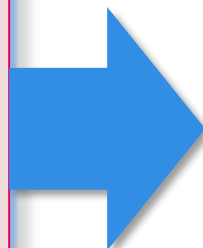


- システムのクラウド化、自動化、
他社専用ソフトとの連携
キャッシュレス推進の提案
- 他社システムとの連携可能な
本部システムの提供
- オンラインデモンストレーション、Web
面談ツールの活用、非対面営業
- オンライン資格確認システム提供
(補助金制度対応)

介護／福祉市場



- 社会の高齢化に伴う新規施設の増加
大規模チェーン介護施設の増加
- 「ポストコロナ」体制への対応
(非接触型のサービス提供、施設利用の制限、
感染対策の強化など)
- 介護記録のデジタル化需要が増加、
情報利活用の推進
- 介護報酬改定 2021年4月



取り組み

**MAPS**
for NURSING CARE

- MAPsの開発及びリリース
チェーン専門営業の組織を確立
- オンラインデモンストレーション、Web
面談ツールの活用、非対面営業
- システム化推進の提案、
医療介護情報連携の検討

マーケティング活動、営業活動

医科 調剤 介護 SEO / SEM 対策の実施

医科 調剤 介護 M&Aの活用

医科 調剤 ハードウェア直販の脱却にともない、ビズネット社とのパートナーシップを拡充

医科 調剤 ECサイト「MAPsダイレクト」によるお客様自身での見積・構成検討、電子契約活用

医科 調剤 既存のお客様を中心に非対面営業の推進

医科 調剤 介護 OEM、代理店などの販売チャネルの拡大

調剤 ユヤマ社がMAPs for PHARMACYの取り扱い開始

医科 調剤 介護 地域包括ケア、病診薬連携 → シーエスアイ社と連携し、病薬連携を実現

医科 : 医科セグメント

調剤 : 調剤セグメント

介護 : 介護/福祉セグメント

開発活動



株式会社 EMテクノロジー研究所 （ 通称 ： EMTLab. ）

● EMシステムズ 100%出資 システム開発子会社 2020年7月設立

- ・最新鋭のイノベーションが行われる環境、先端技術の集約
- ・グローバルに適応する開発専門職の創出
- ・開発者にとって魅力ある会社にする事による、有望な人材の確保
- ・開発組織としての採算の透明化、効率化

- リリース済みの MAPs for CLINIC、MAPs for PHARMACYの機能拡張による製品競争力の強化
- 介護/福祉システム MAPs for NURSING CAREの開発、リリース準備
- 共通エンジンのOEM提供による業界の標準化及びコストダウンへの貢献 ： 同業他社への展開

社会貢献活動

- 伊達公子×YONEX PROJECTへのスポンサー参加



- SDGsの取り組み開始



- 医療AI開発学講座への寄附 （講座長：東京大学特任准教授 河添悦昌氏）
AIとICTを基軸とした新しい医療サービスの基盤開発を目的とした「東京大学 医療AI開発学講座」の趣旨に賛同し、2017年度から講座への寄付を継続し同講座の活動を支援
- 次世代の電子カルテの基盤検討に参画 （代表者：東京大学教授 大江和彦氏）
次世代電子カルテの共通基盤の構築を目指して設立された「次世代健康医療記録システム共通プラットフォームコンソーシアム」の活動に参画
- 厚生労働省研究事業への協力 （研究者：東京大学教授 大江和彦氏）
厚生労働省の研究事業「診療情報提供書、電子処方箋等の電子化医療文書の相互運用性確保のための標準規格の開発研究」の検討に協力するとともに、HL7 FHIR規格で生成された電子処方箋の薬局レセプトコンピュータへの取込み検証試験に参画
- ポリファーマシー対策への支援 （代表：東京大学教授 今井博久氏）
一般社団法人 適正薬剤使用促進研究会が進めるポリファーマシー対策事業の趣旨に賛同し、特別会員として同法人の活動を支援

Ⅱ. i. 決算ハイライト

2020年12月期 期末 連結業績

	2020年3月期 期末	2020年12月期 期末 (計画) ※	2020年12月期 期末 (実績)	計画比
売上高	14,023 百万円	10,092 百万円	9,660 百万円	△4.3%
営業利益	1,583 百万円	1,127 百万円	1,037 百万円	△8.0%
経常利益	2,179 百万円	1,556 百万円	1,469 百万円	△5.6%
当期純利益	1,393 百万円	1,082 百万円	1,062 百万円	△1.8%

※2020年4月28日に公表いたしました決算短信の連結業績予想の数値

※決算期変更に伴い、9か月の変則決算となるため、全般業績の前期比較を記載しておりません。

2020年12月期 期末 トピックス

- ☐ MAPsの出荷/展開の遅れにより、サービスの初期売上が未達
- ☐ MAPsシリーズ新規機能のリリースにより、減価償却費が増加
- ☐ 調剤及び医科セグメントで既存製品の販売数が増加
- ☐ 大手チェーン店より大型SI案件を受注し、ビジネスに貢献
- ☐ 課金売上が堅調に増加

II. ii. 連結業績推移／会計年度別（単位：百万円）

『フロー型』

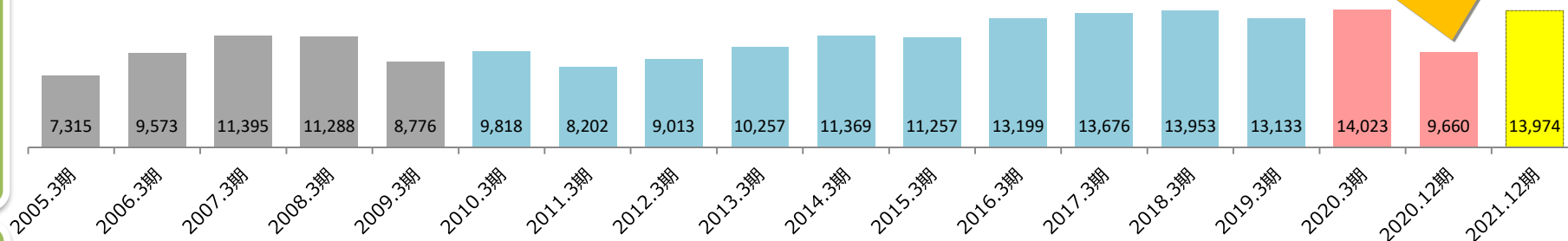
『一部ストック型』

『完全ストック型』

単位:百万円

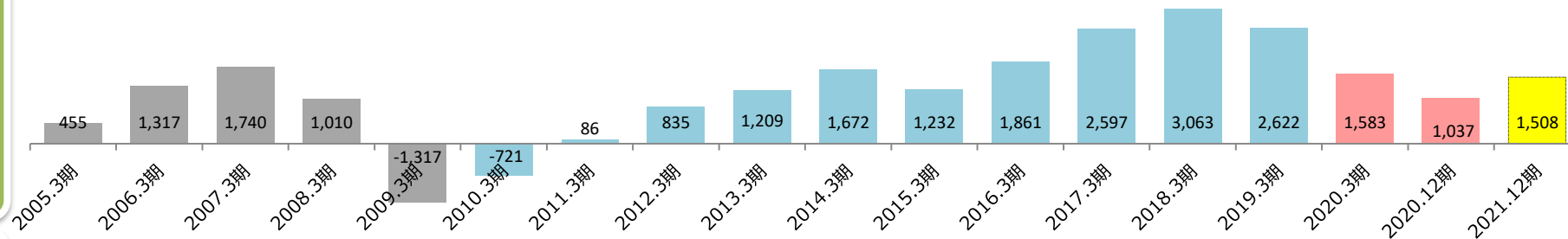
売上高

決算期変更により、2020年度は9ヶ月決算

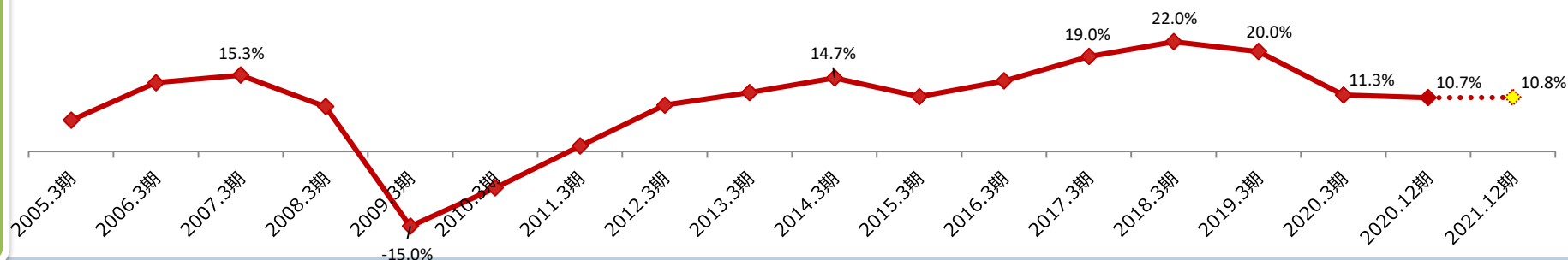


単位:百万円

営業利益



営業利益率



II. iii. 貸借対照表サマリー (単位: 百万円)

	2020年3月期	2020年12月 期末	増減額	増減比	主な増減額
資産の部	23,445	23,096	△348	△1.5%	
流動資産	11,556	11,191	△365	△3.2%	現金及び預金 △787 百万円 未収入金 445 百万円
固定資産	11,888	11,905	17	0.1%	
有形固定資産	1,747	1,441	△305	△17.5%	建設仮勘定 △165 百万円
無形固定資産	2,532	2,591	59	2.3%	ソフトウェア △112 百万円
投資その他の資産	7,609	7,872	263	3.5%	ソフトウェア仮勘定 252 百万円 投資不動産 483 百万円
負債の部	5,754	5,362	△391	△6.8%	
流動負債	3,816	3,476	△339	△8.9%	支払手形及び買掛金 △103 百万円
固定負債	1,937	1,885	△52	△2.7%	前受収益 △170 百万円 製品保証引当金 △59 百万円
純資産の部	17,691	17,734	43	0.2%	
株主資本	17,625	17,675	50	0.3%	
その他の包括利益 累計額合計	△26	△19	6	△25.2%	
新株予約権	91	55	△36	△39.6%	
非支配株主持分	0	23	23	-	

Ⅱ. iv. セグメント別 売上高／営業利益

(百万円)

	2020年3月期実績		2020年12月期実績※	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
調剤システム事業	10,823	1,667	7,450	1,079
医科システム事業	1,881	161	1,296	△35
介護システム事業	497	△348	376	△14
その他の事業	934	127	576	△7

※ セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

※ 決算期変更に伴い、9か月の変則決算となるため、全般業績の前期比較を記載しておりません。

調剤システム事業・・・既存システム販売件数の減少による初期売上の減少

MAPsの出荷/展開の遅れにより、サービスの初期売上が未達

医科システム事業・・・課金売上も順調に増加したものの、新規システム販売件数が減少

MAPsの本格稼働により減価償却費が増加したことで営業損失

介護システム事業・・・「響」シリーズ、「シンフォニー」につきましては、前第2四半期連結累計期間に、初期売上が5年一括売上から、

月額売上への変更に加え、ストック売上が堅調に推移及び【MAPs for NURSING CARE】の新規開発で

資産計上により営業損失が減少

その他の事業・・・スポーツジム及び保育園の閉鎖、貸会議室の予約キャンセルに加え、子会社によるキャッシュレス事業の初期展開で

販管費の増加により営業損失

Ⅱ. v. セグメント別 売上高内訳

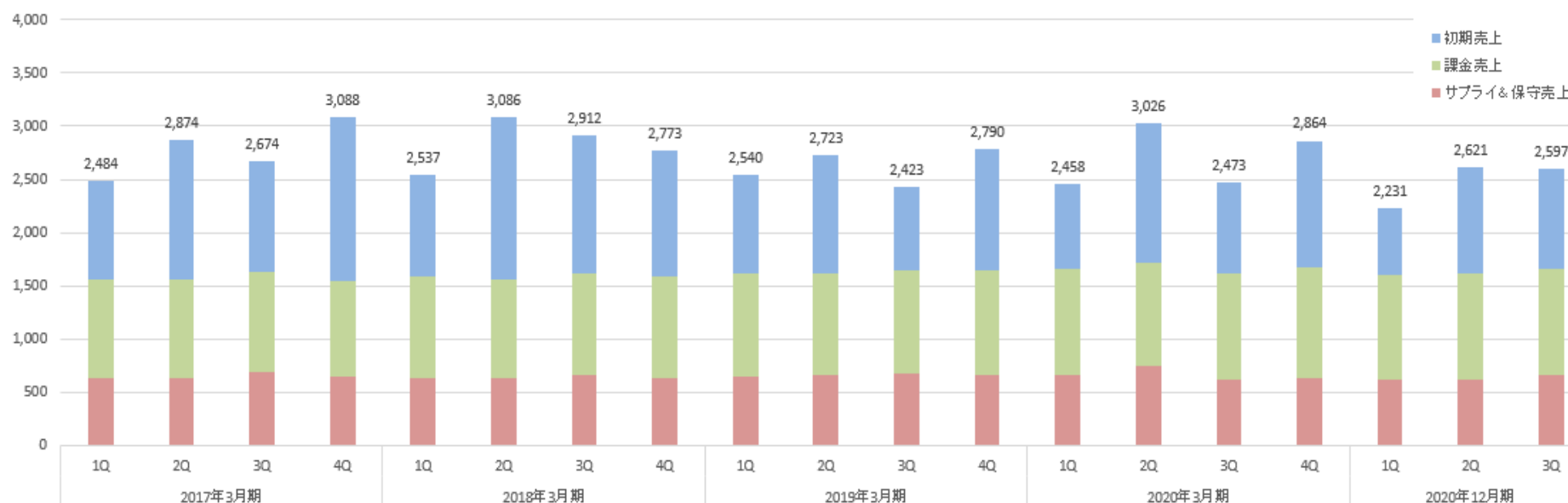
	(百万円)	
	2020年3月期	2020年12月期※
売上高	14,023	9,660
調剤システム事業	10,823	7,450
(内 初期売上)	4,149	2,578
(内 課金売上)	4,004	2,978
(内 サプライ売上)	1,985	1,324
(内 保守売上)	683	569
医科システム事業	1,881	1,296
(内 初期売上)	929	565
(内 課金売上)	565	482
(内 サプライ売上)	93	48
(内 保守売上)	292	200
介護システム事業	497	376
(内 初期売上)	65	36
(内 課金売上)	62	109
(内 サプライ売上)	0	0
(内 保守売上)	368	230
その他の事業	934	576
調整額	△114	△38

※ セグメント別の売上高は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

※ 決算期変更に伴い、9か月の変則決算となるため、全般業績の前期比較を記載しておりません。

Ⅱ. vi. 調剤システム事業

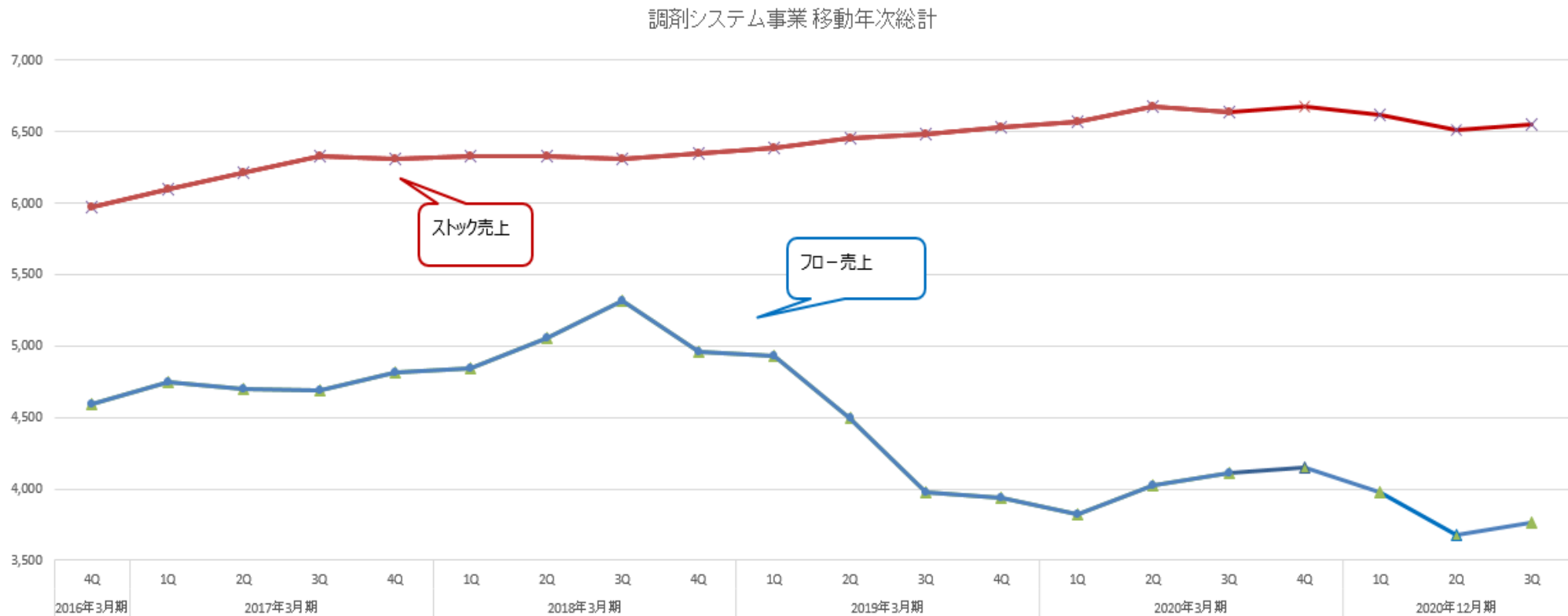
四半期別売上推移（単位：百万円）



	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2020年12月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
初期売上	920	1,319	1,037	1,536	953	1,532	1,297	1,179	919	1,102	776	1,144	801	1,304	858	1,186	629	1,006	942
課金売上	928	925	951	910	946	920	948	964	969	964	972	987	989	981	995	1,039	988	994	996
サプライ&保守売上	636	630	686	642	638	634	667	630	652	657	675	659	668	741	620	639	614	621	659
合計	2,484	2,874	2,674	3,088	2,537	3,086	2,912	2,773	2,540	2,723	2,423	2,790	2,458	3,026	2,473	2,864	2,231	2,621	2,597

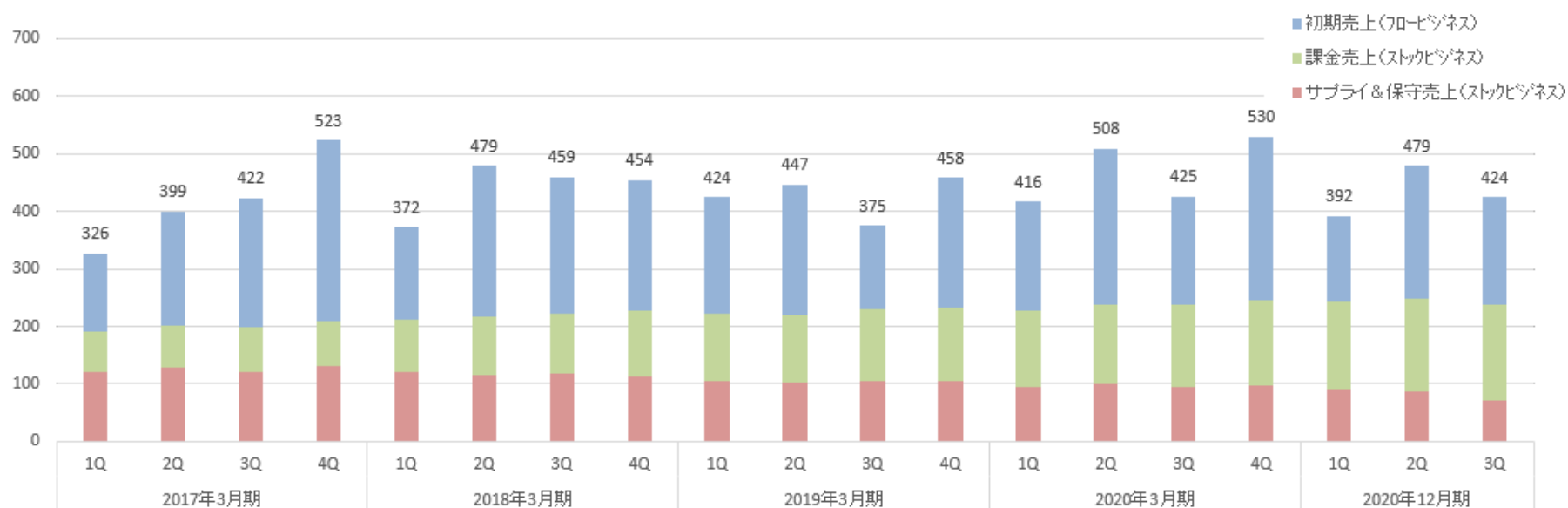
Ⅱ. vi. 調剤システム事業

移動年次総計（単位：百万円）



II. vii. 医科システム事業

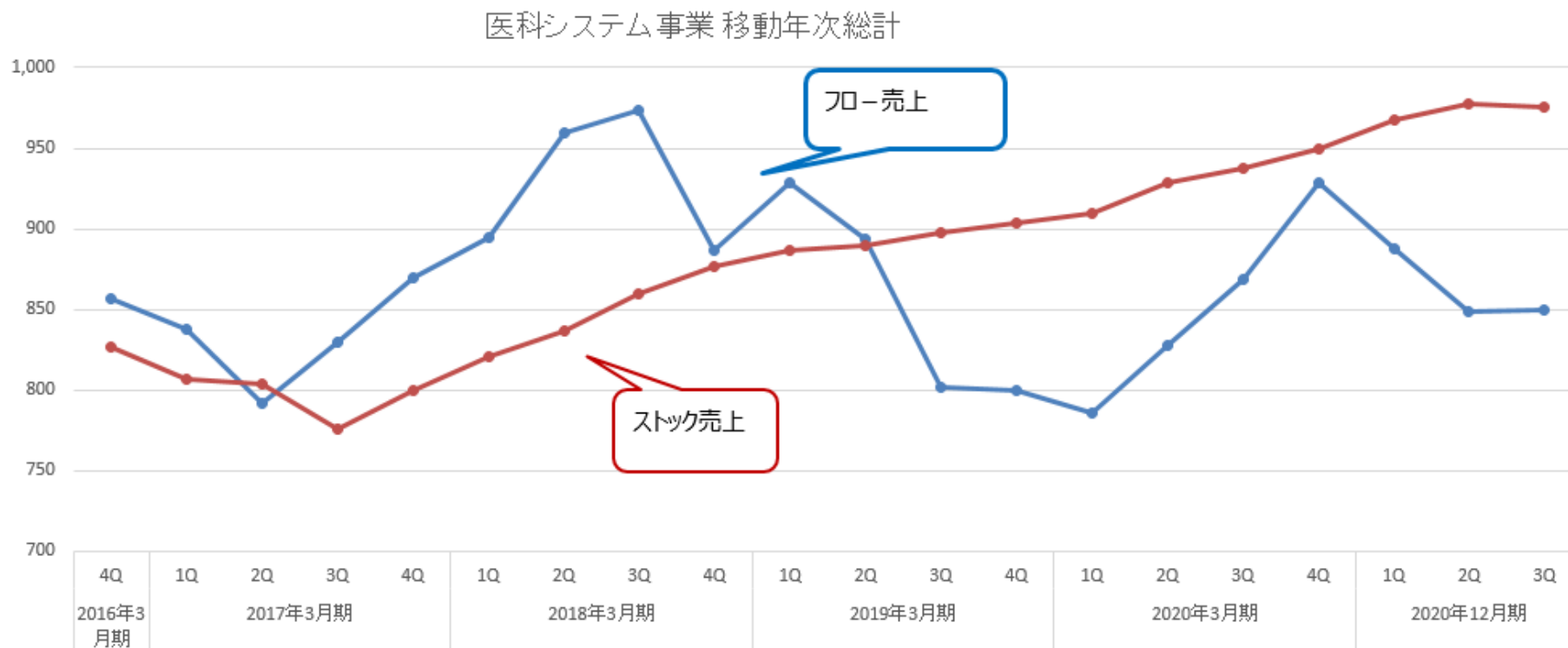
四半期別売上推移（単位：百万円）



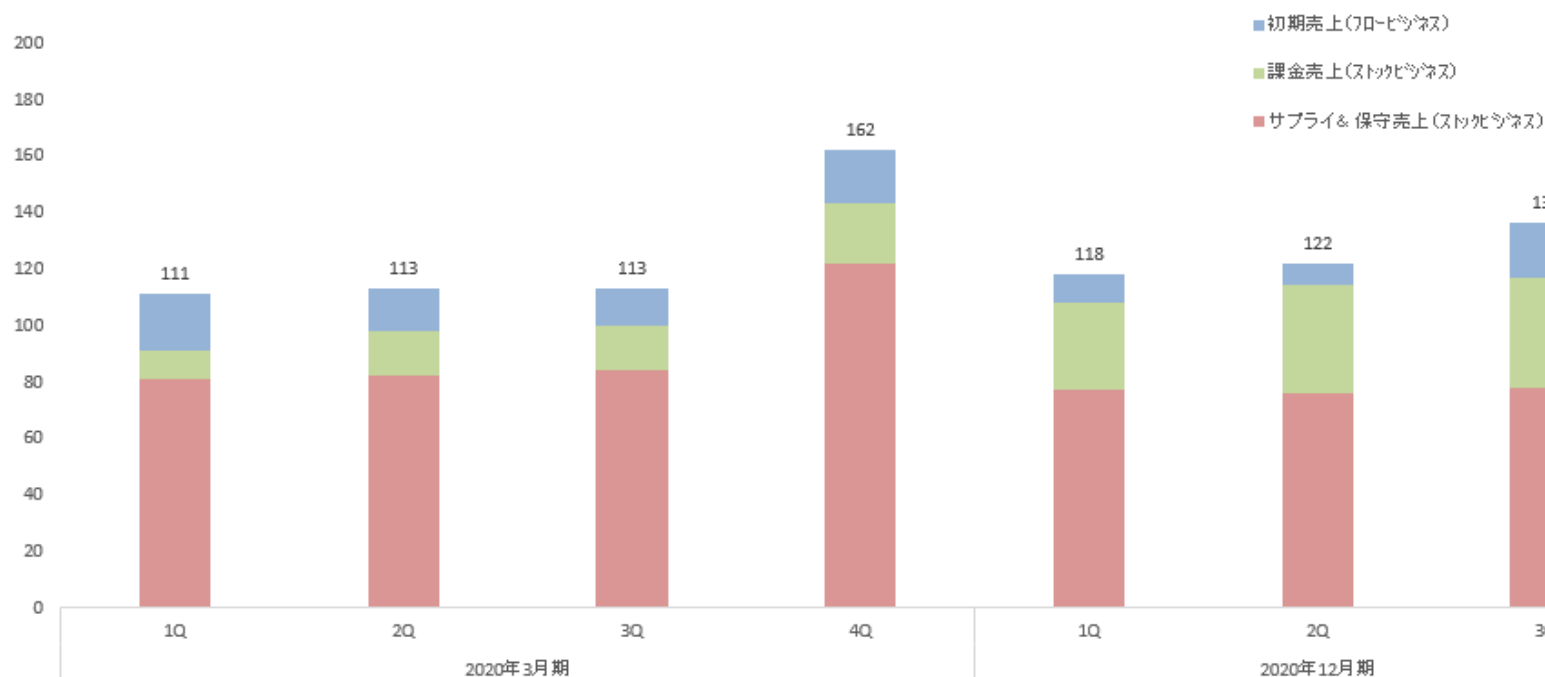
	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2020年12月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
初期売上	136	198	223	313	161	262	237	227	203	227	145	225	189	269	186	285	148	230	187
課金売上	70	73	78	80	91	101	104	113	115	118	126	127	132	139	145	149	154	163	165
サプライ&保守売上	120	128	121	130	120	116	118	114	106	102	104	106	95	100	94	96	90	86	72

II. vii. 医科システム事業

移動年次総計（単位：百万円）

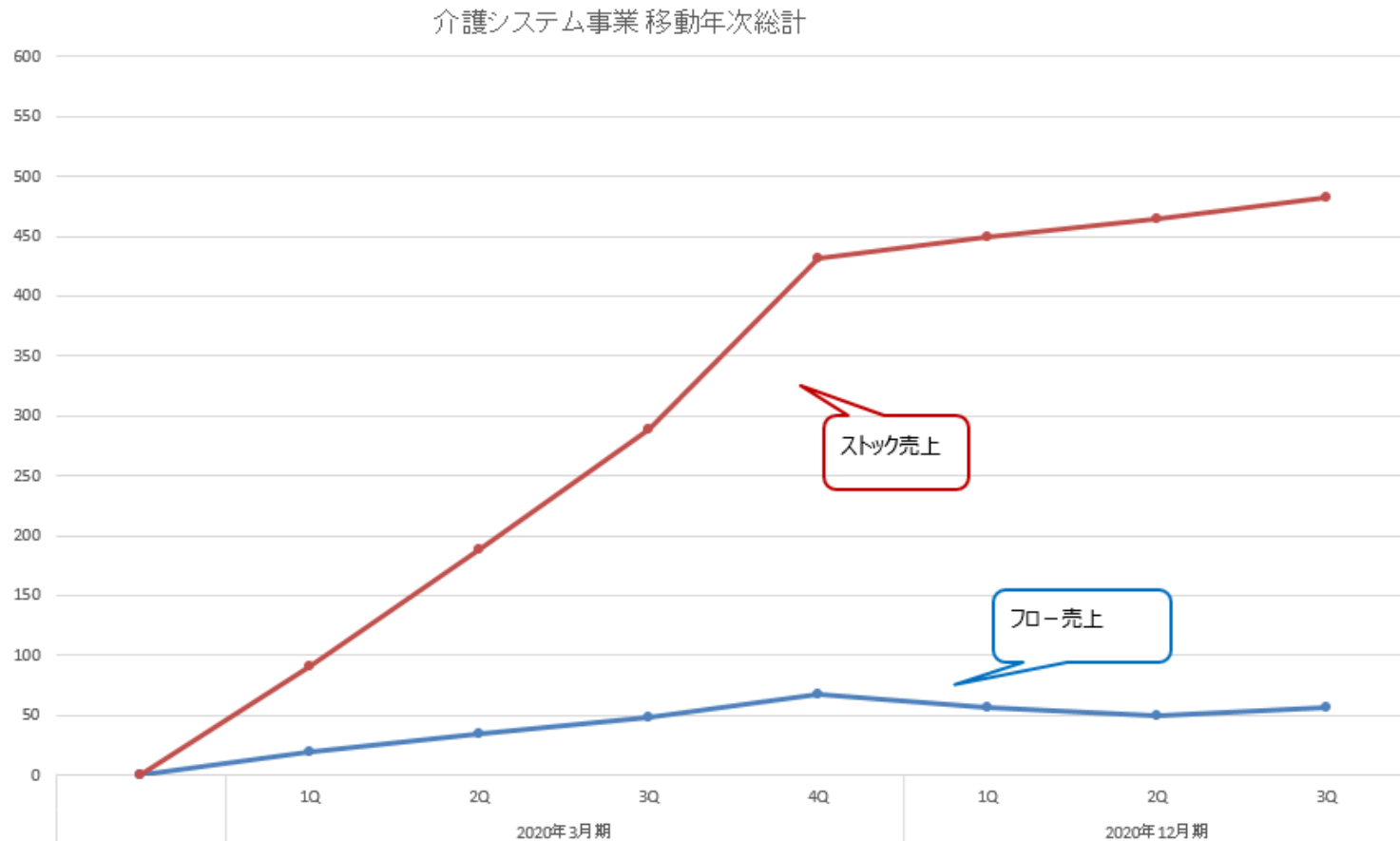


四半期別売上推移（単位：百万円）



	2020年3月期				2020年12月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
初期売上	20	15	13	19	10	8	19
課金売上	10	16	16	21	31	38	39
サプライ&保守売上	81	82	84	122	77	76	78

移動年次総計（単位：百万円）



II. ix. 今後の見通し（連結業績）

（百万円）

	2020年12月期 実績	2021年12月期 通期予想
売上高	9,660	13,974
調剤システム事業	7,450	10,760
医科システム事業	1,296	1,891
介護システム事業	376	564
その他の事業	576	763
調整額	△ 38	△ 5
営業利益	1,037	1,508
調剤システム事業	1,079	1,492
医科システム事業	△ 35	△ 81
介護システム事業	△ 14	146
その他の事業	△ 7	△ 83
調整額	16	34
経常利益	1,469	2,017
当期純利益	1,062	1,357

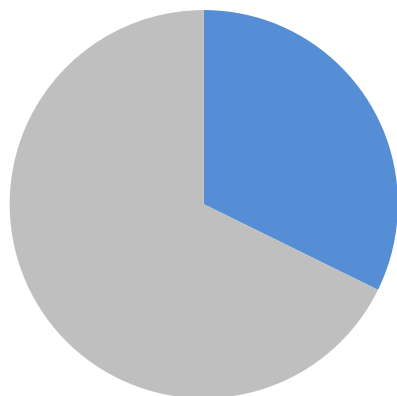
※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

※当社は2020年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。

Ⅱ. x. 当社シェアならびにお客様数

調剤システム

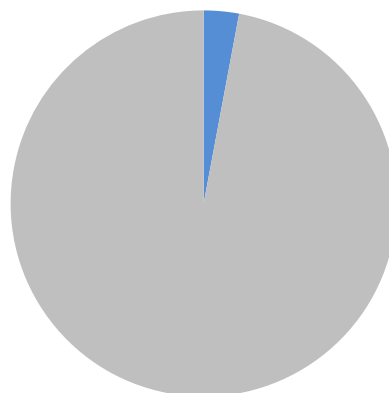
シェア 32.4%



当社お客様 : 16,164件
対象母数 : 50,000件
中期計画目標 : 25,000件

医科システム

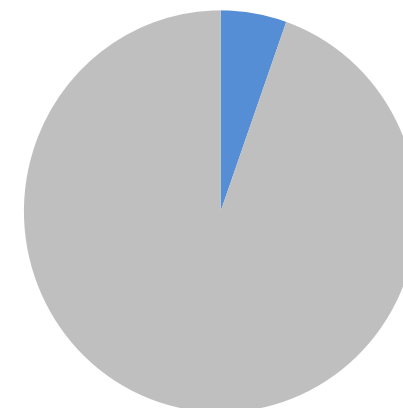
シェア 3.3%



当社お客様 : 2,929件
対象母数 : 90,000件
中期計画目標 : 10,000件

介護/福祉システム

シェア 5.5%



当社お客様 : 13,840件
対象母数 : 250,000件
中期計画目標 : 10,000件

※1 当社お客様件数は当社が販売しているシステム製品のお客様数になります。

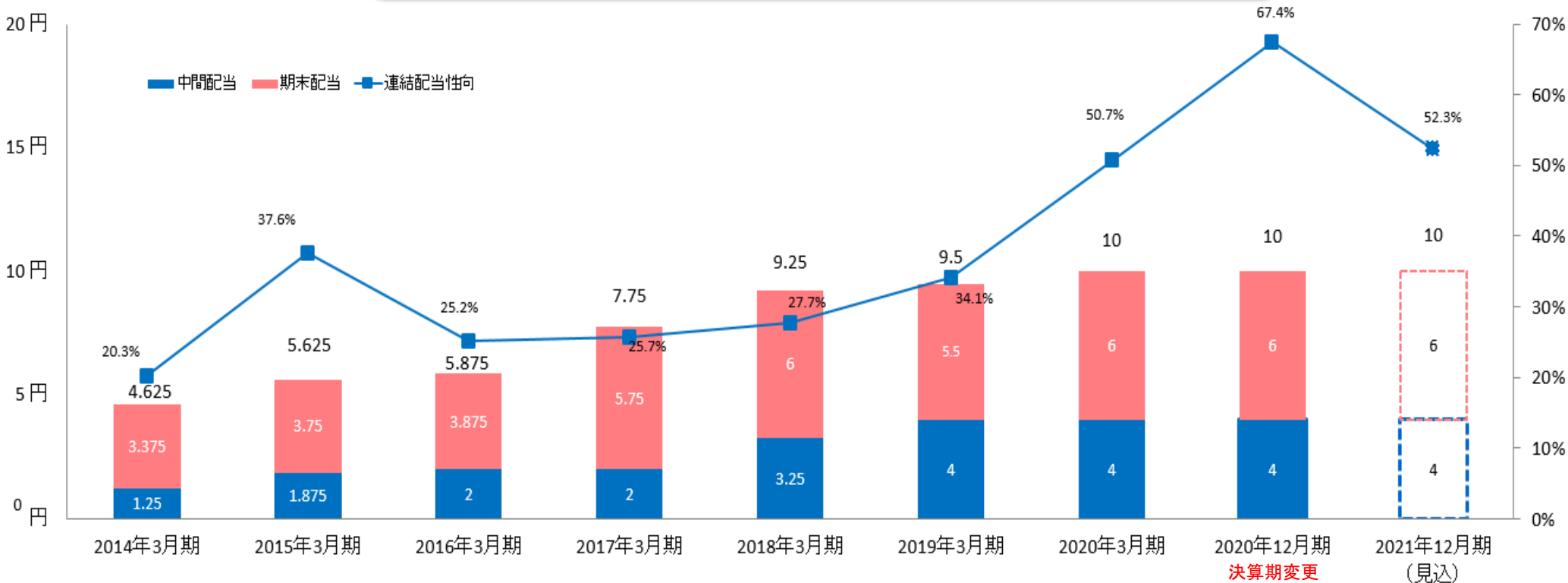
※2 調剤・医科の対象母数は、当社が製品販売先としての対象数を独自に設定したものであり、実際に登録されている薬局数、診療所数とは異なります。

※3 中期計画目標は、2018年5月に公表したものです。

(2020年12月31日現在)

II.xi. 株主還元

- ・ROEを重視しつつ、配当性向 30% を目標
- ・2020年度より決算期を3月31日から12月31日へ変更



※1 当社は、2016年4月1日付け、2018年3月1日付け及び2020年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では2014年3月期の期首にそれぞれの株式分割が行われたものと仮定して表記しております。



◇ お問い合わせ先

株式会社 E M システムズ
総務部 IR担当

ご質問・お問い合わせ先:

<https://emsystems.co.jp/ir/mailform.html>

本説明資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご了承ください。